



# Harmony

編集・発行 弥彦村教育委員会

TEL(0256)94-1021

FAX(0256)94-3232

〒959-0392 西蒲原郡弥彦村大字矢作 402 番地

## 弥彦を愛し、夢や志をもってつながりを広げる強くたくましい子

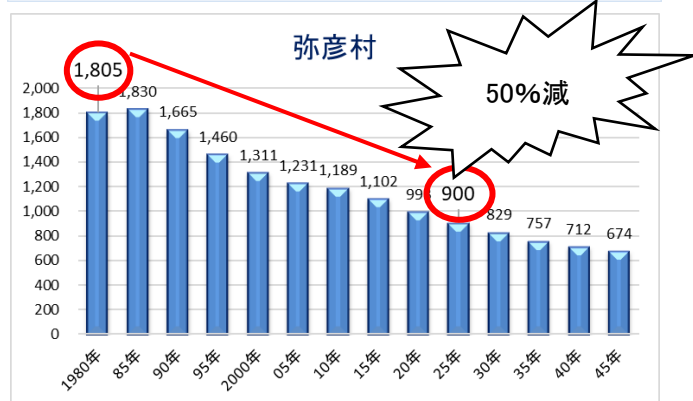
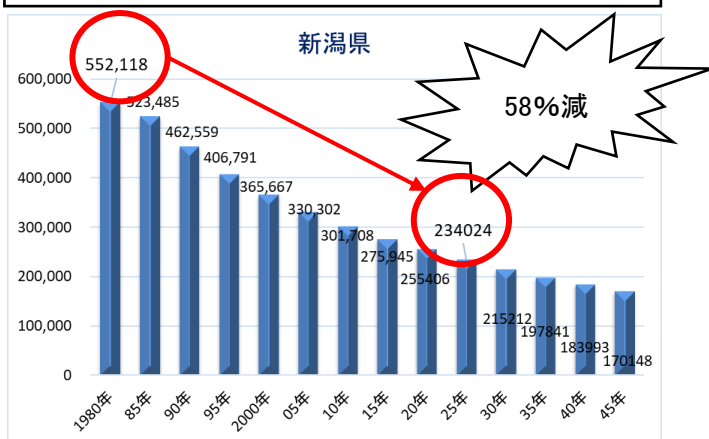
### 来年度の「学校運営協議会=コミュニティスクール」設置に向けて

右のグラフを見てください。これは、2015年の国勢調査を基に、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「将来推計人口」（2018年3月）です。0歳～14歳の人口推移と将来予測で、上段が新潟県、下段が弥彦村です。

7年後の2025年の弥彦村の推計値は、900人です。1980年に比べ半減（50%）する予測です。ちなみに、新潟県では約58%減です。その先はさらに減少する予測です。今後の取組で変わってくることも考えられますが、人口減少は県内外を問わず、全国どこの自治体にとっても、大きな課題です。そのままにしておけば「地域の伝統行事の継続が難しくなる」「子どもたちを地域で育む力が弱くなる」などの問題が生じる可能性があります。

2045年は、現中学3年生が42歳、小学校1年生は33歳です。弥彦村の若手リーダーとして活躍する時代です。改めて、未来に向け、学校は、家庭は、地域は、行政はどうあればよいのでしょうか？そして、子どもたちの明るい未来のために互いに何ができるのでしょうか？

0歳～14歳の人口推移と将来予測



参考:国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年3月推計)」

### 明るい未来を考えよう！

そんな中、立場や年齢を越えて、子どものことを、家庭のことを、時には地域のことをみんなで考えていこうという取組が全国各地で広がっています。それが、「学校運営協議会=コミュニティスクール」の取組です。この取組の根底には、「学校と家庭、地域が共通の目標をもって共に子どもたちとかかわろう！」という考えがあります。現在、教育委員会では、地域の皆様から厚いご支援をいただきながら準備を進めています。この協議会を子どもたちの明るい未来を考える場にしていきたいと考えています。

# いじめをさせない・見逃さない

10月13日（金）に小学校6年生と中学生が合同で「いじめ見逃しゼロスクール集会」を開催しました。児童・生徒自ら、どうしたらいじめをさせないか見逃さないかを考え、行動しようとしています。

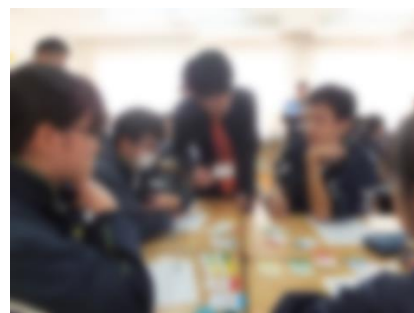
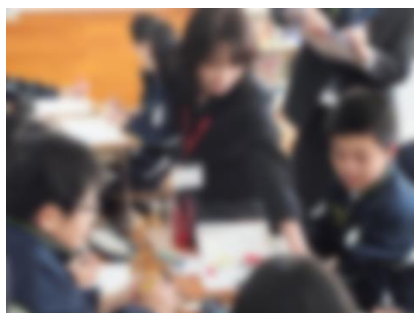


小学校では、いじめを早期に発見し、対応するために以下のようなアンケート調査を行うことにしました。いじめかどうかは、「**されている側がどう感じているか**」によって決まります。

**一見すると仲間同士で遊んでいるように見えても、実は嫌な思いをしている**、という場合もあります。学校では、日常の見取りや教職員の情報交換を緊密に行い、子どもの些細な変化を見逃さないように取り組んでいます。地域・家庭でも子どもの様子で気になることがありましたら、学校または教育委員会にお聞かせください。

アンケート

# 「考え、議論する」子ども・教師



## 授業者：小林明美 教諭

主題「友情、信頼（男女の理解）」  
内容「女子に男子に望むこと」  
異性に対する理解を深め、よりよい人間関係を構築しようとする態度を養う

## 授業者：津端則夫 教諭

主題「相互理解・寛容」  
内容「立候補しない山辺さん」  
相手の立場や考え方、心情を多面的に推測し、それに応じた適切な行動ができる。

## 授業者：廣瀬直哉 教諭

主題「希望と勇氣、努力と強い意志」  
内容「進路のゆくえ」  
他者の考えや想いに対して謙虚に耳を傾けながら、責任をもって自分の人生を切り開くための努力を続けようとする。

11月1日（木）に中越教育事務所の中学校区訪問がありました。中学校を会場に、小学校、中学校の教職員が集まり、「道徳」について研修を行いました。これからの道徳の授業のキーワードは「**考え、議論する**」です。当日は、上の3人の先生が授業を公開してくださいました。3つの授業すべてで、子どもたちが真剣に「**考え、議論する**」姿がありました。授業後の協議会では、先生方がよりよい道徳の授業について「**考え、議論する**」姿がありました。

## ますます求められる「読む力」

11月10日、11日に2020年度（再来年）から、今の大学入試センター試験に代わって導入される「大学入試共通テスト」の本番に向けたプレテストが全国各地で実施されました。

問題は、以下のような傾向があります。

- 複数の文章や図表から情報を読み取る問題が出題されている
- 発表の場面や会話など実際の教室の場면을想定した問題が出題されている。

毎年4月に実施される全国学力・学習状況調査でも同様の傾向が見られます。各校の学校だよりなどですでにお知らせしてあるかと思いますが、弥彦の子どもたちは「**文章や図表に書かれていることを読み解く**」ことにやや課題があります。この力を身に付けるためには、普段から様々な分野の文章に触れていることが重要です。両校ともに、授業改善に取り組むことに加えて、朝読書や読書旬間などの活動を通して、読書に対する興味・関心を高める取組をしています。中学校では数年前から「NIE（新聞を活用した教育）」に学校体制で取り組んでいます。



御家庭でも、学校とともに「読書に対する興味・関心を高める取組」をできることからしてみませんか？

# 弥彦で学ぶ・弥彦で育つ



## 10月20日(土) 中学校合唱コンクール

よりよい合唱を目指して試行錯誤の日々が、確かな成長につながっていました。



## 11月1日(木) 弥彦小6年生「Y(やひこ)M(みらい)K(かみがえる)」活動

この取組を通して、学んだことなどを代表児童から12/1のフォーラムで発表してもらう予定です。



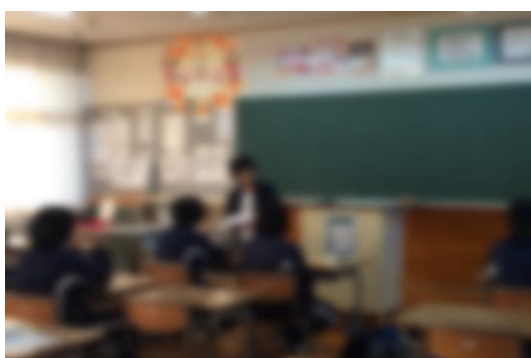
## 11月2日(金) 就学前検診での家庭教育講座

検診が終わるのを待つ間、保護者を対象に家庭教育講座を中越教育事務所の金子先生からいただきました。



## 11月4日(日) モンゴル派遣体験発表会

8月にモンゴル派遣された6名がモンゴルフェアで体験から学んだことを発表しました。



## 中学校3年生放課後学習

今年度で4年目の取組です。数学4回、英語4回の講座を開設しています。中学校3年生の31名が参加しています。



## 11月9日(金) 小学校4年生留学生との交流会

新潟大学の留学生6名と小学校4年生が交流しました。弥彦村を熱心に紹介する姿がありました。